

基礎研究強化に向けた長期方策検討WGの設置について

平成21年2月
基本政策推進専門調査会

1. 主 旨

基礎研究は、大きなブレークスルーを創出し、持続的なイノベーションを生み出し、我が国の国際競争力の土台となるものである。未曾有の経済危機にある今こそ、長期展望に立って、基礎研究を強化することにより、新分野の開拓、画期的研究の展開を図り、世界トップクラスの科学技術を創出・発展させ、我が国の国際競争力を長期に亘って高めることが求められる。こうした認識の下、基本政策推進専門調査会の下に、「基礎研究強化に向けた長期方策検討ワーキンググループ（基礎研究WG）」を設置する。

2. 検討事項

- ① 基礎研究の意義
- ② 基礎研究強化に向けた研究資金の改革
- ③ 若手研究者の育成等、基礎研究強化に向けた研究システムの改革
- ④ 国際競争力の高い大学等、トップ拠点の形成
- ⑤ その他

3. WGメンバー

本 庶 佑 総合科学技術会議議員（座長）
今 榮 東洋子 総合科学技術会議議員

有 信 睦 弘 株式会社 東芝 顧問 (五十音順)

家 泰 弘 東京大学物性研究所 所長

笹 月 健 彦 国立国際医療センター 名誉総長

高 井 義 美 神戸大学大学院医学研究科

生化学・分子生物学講座分子細胞生物学分野 医学研究科長・医学部長 教授

田 中 成 明 関西学院大学大学院司法研究科 教授

中 西 友 子 東京大学大学院農学生命科学研究科 教授

中 村 栄 一 東京大学大学院理学系研究科化学専攻 教授

沼 尾 正 行 大阪大学産業科学研究所 教授

※ その他の総合科学技術会議議員は、アドバイザーとして、随時参加

※ 検討事項に応じて、上記以外の外部専門家をオブザーバーとして招聘する。